

平成25年度

## 報告東日本大震災遺児支援募金活動6月



ワーツ、と新人募金娘、デビュー中です

新人が少し慣れてきました。街の方たちから、とてもよく声をかけられます。しばらく親しく立ち話をしてゆく方が何人もいました。また今月は、卒業生が多く立ち寄ってくれました。記録写真を撮るカメラを手に、眺めていると、歩行者の集団の中で、ピタッと立ち止まって、バックから財布を取り出すご婦人や男性が目にとまります。そのニコニコした目線の先には、口をパクパク開いて募金箱を手にした生徒たちが立っていました。生徒たち、幸せです。

( ボランティア同好会 顧問 )

**6月の活動** 6月22日(土) 25人、29日(土) 11人 AM 10:30~13:00

三越前

藤崎前

グッチ前

刈込ド入り口

参

加人数計35人

合計額 **229,517** 円 を「東日本大震災みやぎ  
**こども育英募金**」に寄付しました。ありがとうございました。

## クリスロード入り口



22日

(活動を楽しむ班)

「この募金は、どこに行きますか？」と男の方から質問され、「先生」と、すぐにふってきました。

宮城県保健福祉部子育て支援課というところに毎回寄付しています。「東日本大震災に伴う震災孤児・遺児支援等のための寄付金」として申し出ています。募金額の合計は、近所の銀行の機械で数え直していただいています。生徒たちが数えた合計と一致したことは、残念ながらまだありません。銀行では、手数料も送料も無料にいただいています。



29日

(すぐ固まりますがねえ、の班)「頑張ってね。」ありがとうございます。



「ご苦労さま。」ありがとうございます。

○生徒感想○

○小さい子からお年寄りまで、笑顔で募金してくれて嬉しかったです。特に小さい子は、自分のお小遣いから出してくれる子がいて、とっても嬉しい気持ちになりました。次回も頑張りたいです。(高1年)

○前回参加できなかった分、積極的に声を出せたと思いました。また、募金してくれた人に、ときどき「ご苦労様」とか「がんばって下さい」など言われた時はとてもうれしかったです。(高1年)

○若いカップルも募金してくれた。私たちははじめて全員そろっての活動だったけど、仲よくできた。途中で人数が減ったけど、声の量は変わらなかったのすごいと思った。(高1年)



不器用がうりものの班でもあります。  
ワクワクです。ニコニコです。—お兄ちゃんたちありがとう。

○活動中に、募金に協力して下さった通行人の方から「笑顔がとってもいい」とほめられたので、よかったです。(高3年)

○今回は3人という少ない人数で私たちの班は活動しましたが、ほとんど問題もなく活動できて安心しました。(高3年)

### グッチビル入口前22日



(クラシック型の班です) 久しぶりのメンバーもいます。



(呼びかけテクニックプロ並みの班長率いる班です) 中高合体班

○久しぶりの募金活動でしたが、市民からの応援の言葉を聞いてうれしく思いました。みんなと一緒にやれてよかったです。(高2年)

○今回初めて後輩たちに教えることができました。時々水分補給しながら大きな声で市民の皆さんに話すことができてよかったです。次回につなげていきたいと思いました。また、後

輩に支えられてしまったときがあったので、今回は私たちが引っ張っていただけらいいと思いました。(高2年)

○いつもより人数が多かったので、声の大きさも倍以上で市民の方々の反応もいつもよりよかったです。今回は年配の方と小さなお子さんからの募金が多いと感じた。「本当に寄付しているのか」言われることが多かったので、何か証明できるものを持っていたほうがいいのかと思った。(高2年)

【注】疑いをはらすために『寄付証明書』を携帯しながら活動するのも変ですが、いろんなことをおっしゃる方、確認したい方もいますから、各班長に持たせている『募金活動のため道路使用許可証(中央警察署発行)』と一緒に、念のため『寄付申出書』と銀行発行の『振り込み金受取書』の最新版コピーも、各班長が携帯するようにしましょう。



ハイ、ありがとうございます。……このまっすぐな表情が、よいです。

○早くお金を入れてくれた人がいて、大きな声で呼びかけができました。私のつくった募金箱にお金をはじめて入ったのが嬉しかったです。その募金箱は今後も役立つように使っていきたいと思います。(高1年)

○街中で大きな声を出すのはすごくすごく緊張して大変でした!! でも今回は、2グループ一緒だったので、よかったです。がんばった分たくさん集まったのでよかったです。(中3年)

○今回は集合時刻を守れてよかったです。募金中も皆さんに思いがしっかり伝わったと思いました。作った募金箱は募金を入れにくい上に、出しにくいので、次回までにできたら改良したいです。(中1年)

29日

(一生懸命班一皆が、立ち止まります。)



「テストは終わったの？赤点は？だいじょうぶ？」



ありがとうございました。

○今回の募金は2回目でした。前回より余裕を持って行動できました。この日（29日）は思ったより寒くて、足が冷えて、すぐ疲れてしまいました。次回はもっと声を出したいし、体調管理をしっかりしたいです。（高1年）



(じっと立っていると、人が来た。)  
あっちからかわいいのが来ます。(実はワンちゃんです)



オネエちゃん、ありがとう。ぴゅーっと、飛んでゆきました。

○一人一人がボランティア活動に意欲的に取り組み、集合時間を守り、声をしっかり出すことができました。(高1年)

○募金の呼びかけの時、自分なりに大きな声で呼びかけられたと思うので良かったです。反省点は、募金をしてくれた人たちにちゃんとお礼が言えなかった部分があったので、そこを次の時に直してゆこうと思います。(高1年)

藤崎前

22日



(ベテラン 落ち着きはらって) ハイ、そうします。



(中学生主体)「おねえちゃんたち、えらいねえ、はい。」

29日



よろしくお願いまーすのオーラ。 呼びかけ工夫度はピカイチの班。



「しっかりよ。」ハイッ。

○今回もどこかの団体がマイクを使っている中での呼びかけとなったが、声はしっかり出せていた。次も工夫しながら頑張りたいと思う。(高2年)

○あまり入れてもらえなかったけど、声を出せたのでよかったです。(高2年)

【 注 】 悩むことはありません。テクニックいりません。笑顔で一生懸命に訴える、それで十分です。前回より募金者が少ない、多いは、私たちの都合の考え。募金額の競争は、していません。私たちの一番の使命は、街に立って、立ち続けてゆくことです。震災の記憶の広告塔でありたい。立ち直ってゆく力の、端っこのほうで頑張りたい。そんなことですから、募金の額が一番求められることではありません。肩の力を抜いて、街の人たちに呼びかけながら、街の空気との交流を楽しんでみましょう。街に立つのを悩みにでなく、ひとつの楽しみに。自分の度胸づけ、試みの機会に。

三越前  
22日



声出しながら、お目覚めです。あっちは、どうかなあ。



「頑張ってるね、よろしくね」



次々に寄って来てくれました。

○1発目の声が寝起きの声になってしまいましたので、次回は気をつけたいです。先月の反省点に書いた「笑顔」についてはしっかりできたと思います。先月活動した時に募金をしてくれた方が今回も募金してくれたので、感謝したいです。(高1年)

○今回けっこう声が出て、市民の皆さんに募金をしてもらえたのでよかったです。(高1年)

○最初みんな声が小さかったのでまだまだだなと思ったけど、だんだんに一人一人大きな声で言っていて良かったです。皆さんに多く募金してもらえるように頑張りました。(高1年)

○(高1年)前回同様時間をきちんと守れたと思う。個人個人では声は出ていたと思うけど、だんだんに出なくなっていたと思う。2回も募金してくれた人などがいたので、うれしかった。(高1年)

2013/07/08 (Mon) 18:35